

羅針盤			方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	1) 自分の学校生活に満足である生徒が、80%以上である。	・生徒に達成感を味あわせる教育を実施する。 ・生徒の個性や人間性を成長させ、将来を切り拓く力を養う指導をする。 ・アンケートを実施し、生徒・保護者の意見を集約して教育活動に反映する。					
		2) 専門(工業)科目の学習を通して、確かな技能や知識の習得に満足している生徒が、80%以上である。	・到達度に達しない生徒については放課後に補習を実施し、到達の援助をする。 ・資格取得や各種検定への積極的な取り組みを促す。 ・協働的学習の効果的な展開を図る。					
	2 生徒の主体的な学びを引き出す教育活動を行っていますか。	3) 課題研究(課題設定、調査・研究、まとめ、発表等)に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が、80%以上である。	・課題研究については、課題設定に十分な時間を与える。課題に対してアドバイスをし、よく考えさせ研究可能なテーマを選択させる。また、各科で研究発表会を実施し、全校発表会につなげる。					
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	4) 授業に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	・授業の公開、研修、生徒アンケート等により、授業改善を進める。 ・授業内容に合わせ、協働的学習を推進する。					
	4 生徒は主体的に学び確かな学力を身に付けていますか。	5) 進路の実現に向けた学力の定着・向上を実感している生徒が、80%以上である。	・言語活動・協働的学習の充実を図る。 ・朝学習の充実を図る。 ・到達度に達しない生徒については試験前に学習会を実施して、わかるまで指導する。					
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	6) いじめの防止や早期発見に向けて、生徒へのアンケートを3回以上実施している。	・生徒へのアンケートや校内巡視による生徒観察、生徒理解と情報のキャッチに気を配る。 ・いじめ発生の際には、速やかに適切に対応し、解消を図る。					
		7) 転退学する生徒が、在籍数の2%以下である。	・学年等との情報共有により組織的に指導する。 ・家庭との積極的な情報交換を行う。 ・教育相談と連携し、個々の生徒に対応した指導を行う。					
	6 充実した特別活動が展開されていますか。	8) 部活動に所属している生徒で、その活動に満足している生徒が、80%以上である。	・部活動が活発化するように予算配分する。 ・部活動を通じて人間的な成長を図る。					
		9) 生徒会主催行事に満足している生徒が、80%以上である。	・生徒会行事全般で、生徒が主体的に取り組み、クラスの団結力を高めることのできるような企画・立案をする。					
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	10) 学校の規則を理解し実践している生徒が、80%以上である。	・月1回程度の定期的な全体指導を実施する。 ・適宜、個別指導を実施するとともに、家庭連絡して、理解・協力を求める。 ・日頃より学年、担任、生徒指導部が連携し指導を図るとともに、集会等全体指導で判断力や倫理観を養えるようにする。					
		11) 欠席率は、在籍数の1. 5%以下である。	・学年等へ情報を提供して、担任や学年主任等の段階的・組織的な指導を実施する。 ・家庭連絡等を積極的に行う。 ・長欠者に対しては、教育相談係、スクールカウンセラーと連携した指導を行う。					

群馬県立渋川工業高等学校(全日制)学校評価一覧表(令和8年度版)(2/2)

羅針盤			方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	総合		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	12) 遅刻率は、在籍数の0. 6％以下である。	・学年等へ情報を提供して、担任や学年主任等の段階的・組織的な指導を実施する。 ・家庭連絡や面談を計画的に行う。 ・生徒指導部と連携した指導を行う。					
	8 学習環境の整備が図られていますか。	13) 教室や実習室が整頓されていて、学習しやすい環境にあると感じている生徒が、80％以上である。	・放課後清掃の徹底を図る。 ・始・終業日の大掃除を充実させる。 ・全校ワックス清掃を実施する。					
	9 授業、実習、部活動等の活動において安全指導、安全管理を行う。	14) 授業、実習、部活動等で安心して活動できると感じている生徒が、100％である。	・授業、実習、部活動等で使用する道具・機材の安全な使用方法の徹底を図る。 ・生徒に対して安全確保に対する意識付けを日常的に行う。					
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	15) 3年生で希望の進路を実現している生徒が、90％以上である。	・進学希望者に進学補習を、就職希望者に就職ガイダンスを実施する。					
	11 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	16) 進路実現に向けて、積極的に取り組んでいる生徒が、80％以上である。	・学年ごとの課題に応じた進路ガイダンスを実施する。 ・社会人講師による進路講話・キャリア教育を推進する。 ・インターシップの活用や職場見学を実施する。					
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域に積極的に情報発信をしていますか。	17) 学校公開を、年4回以上実施し、参加している保護者が、前年より増加している。	・PTA総会時の授業参観(5月) ・中学生一日体験学習(8月) ・学校公開(9月)・学校説明会(11月) ・保護者との連絡を密にし学校教育に興味を持っていただく。					
		18) 学校から発信している情報に関心を持っている保護者が、80％以上である。	・学校新聞を発行する。 ・メール配信やWEBページの更新等、新しい情報を随時更新し提供する。					
		19) 専門的技術を地域に生かす活動を、年5回以上行っている。	・小中学校への出前授業を実施する。 ・各種イベントへ参加する。					
	13 家庭、地域の教育力を活用していますか。	20) 保護者や地域の人を講師とした講演会等を、年3回以上実施している。	・専門学科講師授業(各科数回) ・先輩と語る会(3年生、6月)					
		21) 生徒の将来の志望について理解している保護者が、80％以上である。	・三者面談の中で進路に関する情報交換の場を設ける。 ・進路指導部資料や進路通信に、保護者が生徒の進路について理解できるような内容を取り入れる。					
Ⅵ 職業人育成に実効ある専門高校をめざした取り組みをしていますか。	14 生徒の職業意識を育成していますか。	22) 企業見学等の校外学習を、各学科3年間で2回以上実施している。	・各科及び学年を中心に企画する。					
		23) 実習内容に満足している生徒が、80％以上である。	・自分たちの学んでいることが将来どのように役立つか理解させる。					
	15 工業に興味・関心を持てる教育を行っていますか。	24) 資格・検定合格に向けて、または各種コンテストへの参加、入賞を目指した取り組みを行っている生徒が80％以上である。	・補習や個別指導を実施する。 ・資格、検定合格が進路実現において有効な手段であることを説明する。					
Ⅶ 教育のデジタル化に努めていますか。	16 ICTを活用した指導を行っていますか。	25) ICTを活用した教材作成、または授業を行える教師が100％である。	・ICTを活用して紙またはデジタル教材を作成する。 ・ICTを活用して授業を進める。					
	17 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	26)業務改善を意識してICTを活用している教師が50％以上である。	・デジタルデータの再活用と共有化により業務の省力化を図る。 ・協働ができるようにデジタルデータを整理する。					